



ちほめんニュースVol.82

令和4年2月10日

畿央大学と連携した 地域貢献の取組

奈良財務事務所総務課企画係

～はじめに～

奈良財務事務所では、大学と連携した財政・金融講座の実施など、地域機関と連携し、地域貢献活動に取り組んでいます。取組件数は年々増加しているものの、当所の業務及び地域のために何ができるのかといった点が未だ地域に浸透していないといった現状があります。

そのため、日頃より地域の方々とのつながりを大切にし、意見交換を通じて財務事務所として地域のお役に立てることがないか考え、ちほめんを中心に創意工夫を凝らしながら地域の課題やニーズに寄り添った取組を推進しています。

今回は、畿央大学との連携による地域活性化支援についてご紹介します。

【ニーズの把握と提案】

畿央大学健康科学部人間環境デザイン学科の清水裕子准教授ゼミ（以下、清水ゼミ）は、住民主体のまちづくりを研究テーマとしており、奈良県内各地にて、自治体と地域住民が連携したまちづくりの仕組みづくりを展開しています。

清水准教授と意見交換する中で、「ゼミにおける地域連携の取組をちほめんにお手伝いいただきたい」とのお話があり、自治体向け業務や金融経済教育といった財務事務所の持つノウハウを活用できることから、取組支援を実施することとなりました。



畿央大学（北葛城郡広陵町）

【市民団体が運営する施設でのマナー講座の実施（大和高田市）】

大和高田市において、畿央大学の学生及び地域住民が、市民ホールのレストラン跡をリノベーションし、きらきら☆ステーション（以下、きらステ）という名前で多世代交流拠点を運営しています。コロナ禍の真ただ中のオープンで、利用者数が伸び悩んでいるとの話を受け利用者数増加を目的にイベント（マナー講座）開催を提案しました。

きらステは小さな子連れの利用者が多いため、まずは子育て世代向けのマナー講座を開催しました。近隣商店街でのチラシ配布等、PR活動を行ってもらったものの、初回ということもあり大賑わいとまではいきませんでした。しかし、「とてもわかりやすかった」との感想もあり参加者の満足度は高かったため、継続的な開催により、利用者数の増加に貢献して参ります。



活動詳細は、きらステ公式FacebookまたはInstagramをご覧ください。

～お問い合わせ先～

Tel：080-5367-3113（竹内）

Mail: kirakirast@milky-way.sakura.ne.jp

【ゼミ生考案イベントへの支援（広陵町・河合町）】

北葛城郡広陵町及び河合町の地域間交流を目的としたクイズラリー（竹馬★クイズラリー）の取組を支援しました。

本件取組は、ゼミでの研究活動がきっかけとなっています。両町の児童が地域にちなんだクイズラリーを通じ地域を知ること、「近くて遠い隣町」から「ちょっと知っている隣町」に意識を変化させ、地域への愛着を感じてもらうとともに地域間交流のきっかけとなることを目標として清水ゼミの3回生が主体となって企画されたものです。

当初は、財務課の自治体向け融資業務の知見を生かして、クイズ作成のお手伝いをする予定でしたが、ちほめんのイベント運営ノウハウも活用できることから、本件の運営についても支援することとなりました。

竹馬★クイズラリー

in 竹取公園・馬見丘陵公園

2021年12月21日(火)・22日

河合町・広陵町に住んでいる小学生のみなさん

まちや公園をテーマにした「クイズラリー」を開く

公園を歩いて運動不足を解消しましょう

皆様のご参加をお待ちしております。

参加費：無料
参加対象：河合町・広陵町の小学生及び保護者
参加人数：1日30組（1組あたり最大子ども5人）
持ち物：筆記用具、下着き、水筒
集合場所：馬見丘陵公園 公園館

竹馬クイズラリー解答用紙

地図をみながら馬見丘陵公園（4問）と竹取公園（3問）にあるクイズとヒントをさがして、もんだいに挑戦しよう！せいかいだと思うひらがなを○でかこもう！

①～⑦のひらがなを下に書いてゴールで見せてね！すてきな景品をもらおう！

かくねん：（ ）ねんせい 住んでいるまち：（河合町・広陵町）

おなまえ：（ ）

①の答え ち・つ・て・と

②の答え み・む・め・も

③の答え ち・つ・て・と

④の答え み・む・め・も

⑤の答え ち・つ・て・と

⑥の答え み・む・め・も

⑦の答え ち・つ・て・と

うが出来るよ。↑にかいてね！

馬見丘陵公園

竹馬クイズラリー園内マップ

うま み きゅうりょうこうえん 馬見丘陵公園

たけとりこうえん 竹取公園

みんなのひろば イゴール

①～⑦はクイズがあるだいたいの場所だよ！
めやすにしてクイズをさがしてね！
ヒントはクイズとクイズの間の道のりにあるよ～！

本件取組支援の中心となるちほめんはゼミ活動から参加し、準備すべき事柄のアドバイス、文書作成のアイデア出し等を行いつつ、イベント当日には別のちほめんも加え、事務所一体で運営補助を行いました。

イベント自体は、総勢181名が参加し、「また参加したい」、「自分の町も隣の町も知れて楽しかった」などの感想が寄せられる満足度が高いものになりました。また、参加者だけでなく、イベントを運営した、畿央大学・地域住民のボランティア・広陵町役場・河合町役場・奈良財務事務所の間でもつながりができるなど、副次的な効果もありました。イベント終了後両町はじめとして、「財務事務所がここまで地域貢献に取り組んでくれることを知らなかった」とのお話もあり、イベント成功もさることながら当所の地域貢献の取組を浸透させることができました。



事前準備段階からちほめんが参画した



竹馬★クイズラリーの詳細は[こちらの](#)畿央大学ホームページをご覧ください。

【まとめ】

これらの取組は今後も継続して実施する予定のもので、当所としても継続的に関わることで、地域を元気にするお手伝いをしていきます。

こういった取組をきっかけに得たつながりを大切にし、小さなことからコツコツと取り組むことで、当所の地域貢献に対する思いを伝え、地域に貢献して参ります。



公園内の誘導人員が不足していたため、管内のちほめんに声をかけて、対応した